



トップエスイー受講ガイド (クイックガイド・講義編)

<https://www.topse.jp>

2021 年度

Rev.1.0

2021-3-5

※本記載内容はコロナウィルス感染状況によって変更になる場合があります

Copyright © 2021 TopSE Project, National Institute of Informatics. All Rights Reserved.

目次

目次

1. クイックガイド	2
受講で使うサイト	2
LMS（Learning Management System/学習管理システム）	2
受講生ポータル	2
履修登録について	2
履修状況の変更	2
事務局連絡先	3
2. 修了要件	3
トップエスイーコース	3
アドバンス・トップエスイーコース	3
ロゴ使用規約	3
3. 講義科目の履修	4
講義のスケジュール、シラバス	4
講義科目一覧(第 16 期)	5
日々の講義受講	6
欠席する場合	6
出席について	6
講義日の出席状況に関して	6
各講義終了時	6
オンラインでの講義参加	6
オンライン受講予定の講義を欠席する場合	7
講義の成績	7
個別指導などで利用する遠隔通信	7
施設案内	8
講義室	8
講義室周辺の利用	8
国立情報学研究所の入退場	9
4. 休学等事務手続きについて	11
休学について	11
編入について	11
延長について	11
5. 詳細情報インデックス	12
アドバンス・トップエスイーコース編	12
ソフトウェア開発実践演習編	12
システム編	13

1. クイックガイド

本概要はトップエスイーを1年間受講するにあたり必ず知っておいて頂きたいことをまとめたものです。

受講で使うサイト

LMS (Learning Management System/学習管理システム)

LMS はテキスト等の配布やレポートの提出など、全ての講義で使います。予習・復習でも利用するサイトです。URL は次の通りです。

□ <https://lms.topse.jp/>

受講生ポータル

講義日の出席登録、講義スケジュール確認、履修登録、受講生ポータルで行います。受講生ポータル URL は次の通りです。

□ <https://sp.topse.jp/>

LMS へのアクセス、受講生ポータルへのアクセスは、入学時にお渡しするアカウント (LMS のアカウント) を使います。以降は出願時に一時的にお渡ししたアカウントは利用しません。

※LMS、受講生ポータルの使用方法など、詳しくは受講ガイド(システム編)をご覧ください。

履修登録について

受講生ポータルで「履修科目選択」を選択すると、履修登録が可能です。履修して合格することで、単位が認定されます。「非履修」を選択すると、単位としては認定されません。

履修する場合は、どの科目も、開講日の2週間前までに「履修」を選択する必要があります。履修登録の締め切りは科目ごとに異なりますので、締め切り日を各自で確認して下さい。締め切り日を過ぎると、「履修」の選択あるいは「非履修」への変更はできません。

※4月開講の講義のみ1週間前まで変更が可能です。

ほとんどの科目で「聴講」を選択することも可能です。聴講できない科目もありますのでご注意下さい。聴講では出席は確認されますが、成績評価は行われません。レポートの提出は原則として可能ですが、講師による採点や指導等はいきません。また、単位認定もありません。

履修状況の変更

以上の「履修」「非履修」「聴講」、そして履修を途中で放棄した「取消」をまとめて「履修状況」と呼びます。履修状況は、締め切り日までは、履修、非履修、聴講のいずれにも変更できます。その後、開講後2週間以内であれば、受講生ポータルの「履修科目選択」で1回のみ変更できますが、変更できるのは以下のパターンのみです。履修登録締め切り日以降は履修には変更できません。

□ 履修 → 聴講 (単位は認定されなくなります)

□ 履修 → 取消

□ 聴講 → 取消

開講後2週間を越えると履修状況は一切変更できません。履修状況は、成績票に記載されます。

事務局連絡先

トップエスイーの事務局は、20 階 2008 室（講義室の隣）です。電話番号、メールアドレスは次の通りです。

電話番号：03-4212-2729

メールアドレス：general@topse.jp

事務局より、メールで連絡を行う場合があります。内容を確認の上、アクションが必要なものについては、適時対応をお願いします。

※2021 年度は、スタッフが基本在宅勤務となりますので、メールでのお問い合わせをお願い致します。

2. 修了要件

トップエスイーの年間コースの受講生は在籍期間内に、以下の要件を満たすことで修了認定されます。

トップエスイーコース

- 講義科目 10 単位以上の合格（詳しくは(3.講義科目の履修)に記述)
- ソフトウェア実践開発演習の合格（詳しくは受講ガイド(ソフトウェア開発実践演習編)に記述)

アドバンス・トップエスイーコース

- 最先端ソフトウェア工学ゼミの合格（詳しくは受講ガイド(アドバンス・トップエスイーコース編)に記述)
- プロフェッショナルスタディの合格（詳しくは受講ガイド(アドバンス・トップエスイーコース編)に記述)

ロゴ使用規約

トップエスイーの修了生は、名刺にトップエスイー修了のロゴマークを入れることができます。シールを追加したい場合や、トップエスイー修了ロゴマークの電子データが必要な場合、「利用者氏名」「勤務先」「提供形態(デジタルデータ、または、シール)」を記載したメールを事務局（general@topse.jp）に送付してください。

トップエスイー修了ロゴマークの電子データは、白黒印刷を原則とします。トップエスイー修了ロゴマークを初めてお使いの際、ロゴマークを入れた名刺見本 1 部、あるいはスキャンしたイメージを事務局に提出してください。名刺以外でロゴマークの使用を希望する場合には、事前に事務局に申請して許可を得てください。

3. 講義科目の履修

受講生は、受講年度の講義科目を全て受講できます。

講義のスケジュール、シラバス

講義は、受講生ポータルに掲示されたスケジュールで開講されます。

講義の内容、講義を受講するための前提知識やスキルなどがシラバスに記載されています。もし、前提知識やスキルに不安があるとお感じの方は予め必要知識やスキルを自習しておいて下さい。

1年を通した受講プランを立て、業務と両立できるように、ご自身の受講スケジュールを組んで下さい。

- スケジュール：受講生ポータルの「講義予定カレンダー」
- シラバス：受講生ポータルの「シラバス」もしくは
<http://www.topse.jp/ja/curriculum-lectures.html>

講義科目一覧(第 16 期)

シリーズ	科目名	
形式仕様記述	プログラム検証の理論	形式仕様記述入門
	形式仕様記述演習	正当性保証付きシステムモデルの段階的構築
	定理証明支援ツールの活用	形式仕様記述の実適用に関するワークショップ
テストと検証	モデル検査入門Ⅰ	モデル検査入門Ⅱ
	設計モデル検証	性能モデル検証
	並行システムの設計検証	モデル検査事例演習
	プログラム解析	テストイング(基礎)
要求工学	要求工学基礎	要求工学先端
	デザイン思考要求工学	
アーキテクチャ	オブジェクト指向分析設計	コンポーネントベース開発
	アーキテクチャ設計・評価	ソフトウェアパターン
	モデル駆動開発	ソフトウェア再利用演習
クラウド	クラウド実践演習	分散処理アプリ演習
	分散システム基礎とクラウドでの活用	クラウド基盤構築演習
セキュリティ	セキュアプログラミング	セキュリティとセーフティの要求分析
	セキュリティの脅威分析実践演習	
データサイエンス	ビッグデータ IT 基盤	機械学習概論
	ビジネス・アナリティクス概論	機械学習発展編
	統計学と多変量解析の基礎と応用	テキストデータ分析の基礎と応用
	データ駆動型時系列分析	画像データ認識の基礎と応用
	ベイズ統計によるデータ解析	データサイエンス実践
	統計学と最適化	ベイズ統計学
アジャイル	アジャイル概論	アジャイルプロダクト開発
	アジャイルテクニカルプラクティス	
共通	ソフトウェアの保護と著作権	ソフトウェア開発見積り手法

日々の講義受講

2021 年度は、ごく一部の講義を除いて、完全オンライン講義で実施する予定です。完全オンライン講義とは、講義時間帯に Zoom を用いて双方向ライブ配信で実施され、講師ならびに受講生が、自宅あるいは職場から参加する講義を意味します。

平日は、18:20～19:50, 20:00～21:30 の時間帯に講義が行われます。昼間や土曜日の講義は、講義科目ごとに開始時刻が異なりますので、スケジュールを確認して下さい。講義開始までに、ご自身の PC を立ち上げておいて下さい。

欠席する場合

講義に遅刻・欠席する場合には、担当講師に講義のメーリングリストで連絡して下さい。メールアドレスは、受講生ポータル「講師 ML」より確認できます。なお、講義は録画してあります。視聴方法は、「LMS について」の「補講用ビデオ閲覧方法」をご覧ください。

出席について

講義の出席は、受講生ポータル「出席・遠隔申請」より、各自で登録して下さい。出席登録は、講義当日のみできます。出席登録を忘れた場合には欠席扱いになります。

講義日の出席状況に関して

講義の開始時刻から 19 時まで、オンライン受講も含めて、誰も受講生がいない（あるいは端末からのログインがない）場合、その日の講義は休講とします。

その日の講義の実施については、その日の講義内容を各自が自習、あるいは補講日を設定するのは、講師より指示を受けて下さい。

各講義終了時

講義の改善のために受講した科目について忌憚のないご意見をいただきたくアンケートをお願いしております。講義終了後 1 週間以内に、受講生ポータル「履修科目選択」よりアンケートのご協力をお願いいたします。講義終了の都度、事務局より皆様にメールでアンケートのお願いをさせていただきます。

オンラインでの講義参加

オンライン受講のためには、PC 等の Zoom がサポートするデバイスと、スピーカーやヘッドフォン、マイク等を用意して下さい。PC、スマホ、タブレットにてアプリを入手して利用できます。講義開始時刻の 10 分程前に、アクセスをして下さい。以下はオンライン講義の参加に必要な情報です。

- Zoom のサイト：<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
- Meeting ID：830 8245 0200
- パスコード：FfUmTa48

Zoom のサイトに接続して、「ミーティングに参加する」をクリックし、前記の Meeting ID を入力して Meeting に参加できます。

それとは別に、Web ブラウザで講義に直接接続することも可能です。URL は次の通りです。

- <https://us02web.zoom.us/j/83082450200?pwd=RDN3WVJJaZ3JRZG1ya1JUUVIBUd0xjdz09>

この URL により、Zoom に接続して、該当する Zoom の会議に直接入るので、すぐに講義に参加できます。

Web ブラウザでの初回アクセス時には、Zoom のインストーラがダウンロードされます。受け入れてインストーラを起動し、インストールを行って下さい。自動的に Zoom が立ち上がります。

ミーティングに入るときに、名前を入力するように促されます。日本語で入力して下さい。すでに教室内で準備が完了していれば配信がスタートします。

オンライン受講予定の講義を欠席する場合

オンライン受講予定の講義を欠席する場合、

□ 担当講師メーリングリスト

に連絡して下さい。

講義の成績

受講した科目の成績は、講義に出席した上で、講師から求められたレポートの評価を以て決定されます。試験を行う講義はありません。

成績は得点で記載され、80 点以上を「優」、80 点未満 70 点以上を「良」、70 点未満 60 点以上を「可」、60 点未満を「不合格」とし、それぞれに A～D を記載します。

レポートの提出は、講義中の講師の指示に従って下さい。殆どは、LMS のレポート提出領域に、講師が指定した期日までにファイル等で提出します。科目によってはレポート提出方法が異なることもあります。

全ての講義の成績をまとめた成績票は修了式でお渡し致します。成績票の原本が必要な方は、事務局まで発行部数と送り先住所・宛名を連絡して下さい。成績票はご本人以外、希望される場合はご所属の企業にもお送りしています（所属企業が受講料を負担する場合）。

個別指導などで利用する遠隔通信

プロフェッショナルスタディ、ソフトウェア開発実践演習でのグループ参加や指導を行う場合は、Zoom 等を使用することになるかと思われますが、有料サービス等必要な場合は、まず担当講師にご相談頂き、事務局に契約依頼をして頂くようお願い致します。なお Zoom のアカウントにつきましては、数に限りがありますが、事務局で契約しているアカウントがあります。

施設案内

講義室

国立情報学研究所の 20 階の 2010/2009 室が講義室です。受講生には、講義室の入室の開錠と退室の施錠をする入館証を配布しますので、国立情報学研究所に来所時には必ず持参して下さい。

■入館証お渡し時期

講義受講等で国立情報学研究所にお越しになる際、事務局(20 階の 2008 室)にてお渡し致します。

■アカウントについて

講義のテキストは、学習管理システム－LMS（Learning Management System）にアップロードされています。これらを利用するためのアカウント（以下、「LMS のアカウント」）と、トップエスイーの Wi-Fi のネットワークを利用するためのアカウント（以下、「eduroam のアカウント」）を個々人に配布します。PC/Mac を使用する際には Wi-Fi を利用して下さい。AC100V の電源コンセントをご利用頂けます。

■アカウントお渡し時期

- ・ LMS 及び受講生ポータルアカウント：オリエンテーション直前にメールにてお伝え
- ・ eduroam アカウント：講義室での講義開始連絡のタイミングでお伝え

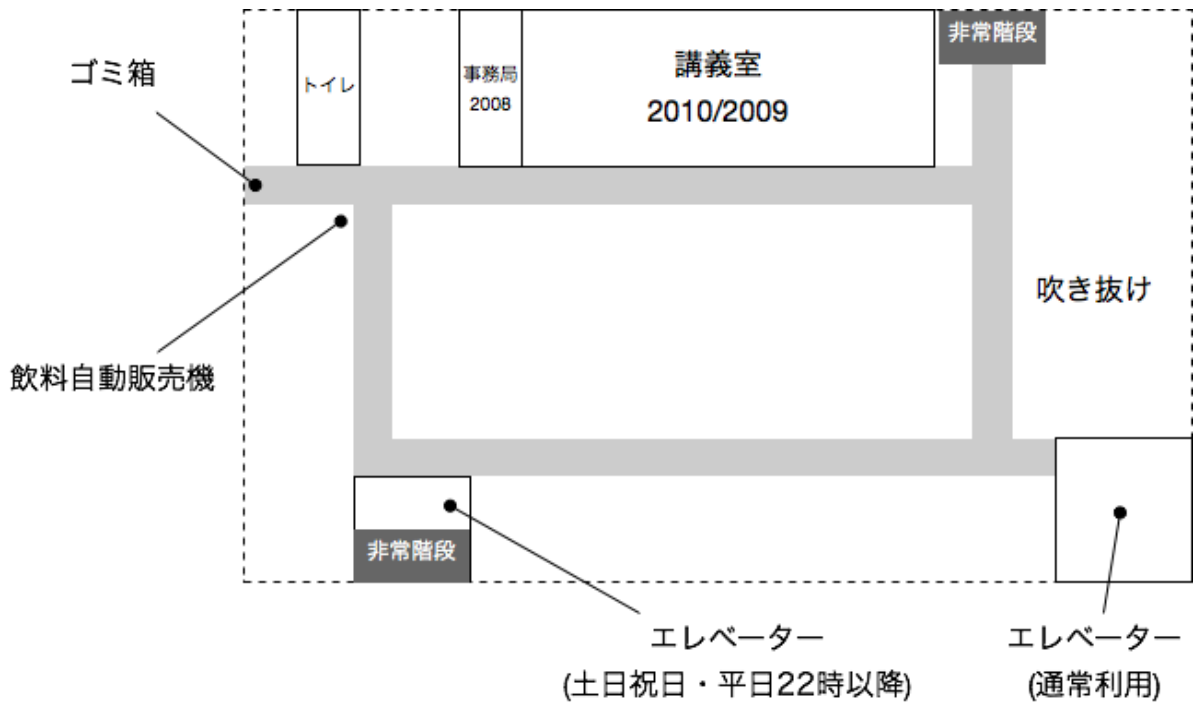
※講義室の使用方法、オンライン講義受講方法についてなど、[3.講義科目の履修](#)をご覧ください。

講義室周辺の利用

トイレは、講義室を出て、エレベータと反対方向に歩いたところにあります。

ゴミはトイレの前にあるゴミ箱に、各自がお持ち下さい。講義室内にゴミを放置しないで下さい。

トイレ近くに飲料の自動販売機があります。コンビニ等で購入してお持ちになるのもかまいません。講義室にて飲食して結構ですが、ゴミの廃棄およびデスクや床を汚した場合には清掃をお願いします。



国立情報学研究所の入退場

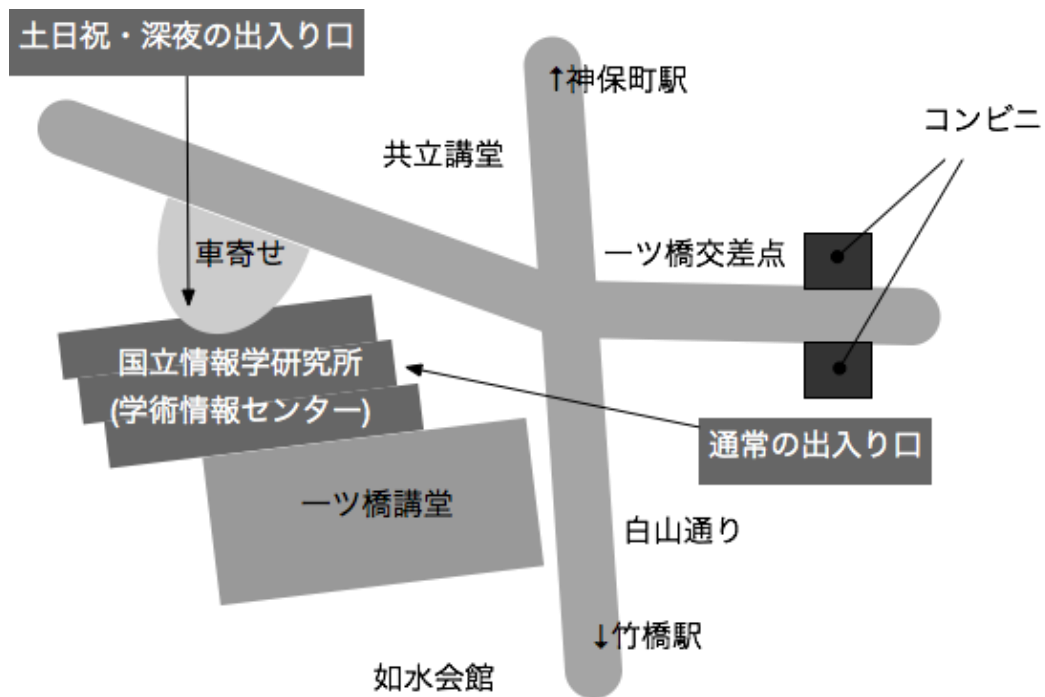
平日は、正面玄関（図の「通常の出入り口」）より入館できます。入館証を警備の人に必ず提示して下さい。エレベータで 20 階に行き、教室まで来て下さい。

平日 19 時以降は、エレベーターホールと教室の間は施錠されます。19 時以降教室に入る場合、入館証で解錠して下さい。教室からエレベーターホールに出るには、ドア近くの左の壁に緑に光っているボタンを押して解錠して下さい。

平日の 22 時以降は、正面入り口に繋がるエレベーターホールのエレベータが使えません。22 時以降は、荷物用のエレベータで 1 階まで降りて、通用口（図の「土日祝・深夜の出入り口」）より退館して下さい。

講義終了後、最後に教室を退出する方は、講義室前後の扉横にカードリーダー式の鍵が設置されています。各自の入館証が鍵になっていますので、2009 室と 2010 室両方の講義室を必ず施錠して下さい。

土曜、日曜、祝日は、正面入り口（図の「通常の出入り口」）が開いていません。正面より右側に回ったところにある通用口（図の「土日祝・深夜の出入り口」）より入退館をして下さい。入館時には、記名が必要です。荷物用のエレベータで 20 階まで来て下さい。エレベーターホールから教室に行く途中で、入館証が必要です。退館時は逆のルートを辿って下さい。



平日講義日は、17 時以降には、講義室（2010/2009 室）に入室できます。自習等で、講義室を使って頂いて構いません。それより前の時間については、別の用途で利用している場合もあるため、事務局に問い合わせして下さい。なお、講義室以外では、以下の場所も利用できるもので、早い時間に来所された場合には、ご利用下さい。

- 3 階、食堂、喫茶、喫煙室
- 18 階、休憩スペース（飲料自販機あり）エレベーターホールから入ってすぐ右のあたり
- 18 階、図書室

4. 休学等事務手続きについて

休学について

受講期間は4月1日より翌年3月31日までの1年間です。ただし、何らかの理由で受講が継続できない場合には、休学することにより、受講期間の一部を別の時期に移して取り組むことも可能です。休学は1回のみ、原則最長1年間取得できます。

休学の後、受講を再開する場合には、復学を行います。ただし、履修計画により休学の期間や復学の時期等を検討する必要があるため、休学を希望する場合や復学を希望する場合には、まず事務局へご相談ください。

編入について

トップエスイーコースの受講生は、希望すればアドバンス・トップエスイーコースに年度の途中で編入が可能です。授業料の差額を支払う必要があります。しかしながら、年度内の日数が十分でない時期に編入しても、取り組む時間が少なくなり、習得できる内容も限られます。従って、年度内の早い段階での編入を行うのが現実的です。希望する場合は、事務局までご相談ください。

延長について

1年間の受講期間で修了要件を満たすことができない場合には、希望があれば受講期間の延長ができます。延長が決まった段階で今後の履修計画を立てます。その上で履修期間に応じた受講料の追加支払いをお願いします。

5. 詳細情報インデックス

分冊の受講ガイド3冊について項目名を記載します。

アドバンス・トップエスイーコース編

1. アドバンス・トップエスイーコース

- ・ 修了要件
- ・ プロフェッショナルスタディ
 - ・ テーマ申請書
 - ・ 担当講師決定
 - ・ プロフェッショナルスタディを進める
 - ・ プロフェッショナルスタディ テーマ企画発表
 - ・ プロフェッショナルスタディ 中間進捗発表会
 - ・ プロフェッショナルスタディ 審査会
 - ・ トップエスイー外部向けサイトからの公開
- ・ 最先端ソフトウェア工学ゼミ
 - ・ 個別ゼミ 1
 - ・ 個別ゼミ 1 報告会
 - ・ 個別ゼミ 2
 - ・ 個別ゼミ 2 報告会
- ・ 『プロフェッショナルスタディ』『最先端ソフトウェア工学ゼミ』実施日程

2. 審査基準

- ・ テーマ申請書の書き方

ソフトウェア開発実践演習編

1. ソフトウェア開発実践演習

- ・ トップエスイーコース修了要件
- ・ ソフトウェア開発実践演習について
- ・ 演習の分類
- ・ ソフトウェア開発実践演習説明会
- ・ 通常演習の開始まで
- ・ 独自演習(個人)の開始まで

- ・ 独自演習(グループ)の開始まで
 - ・ 演習の実施
 - ・ ソフトウェア開発実践演習審査会
 - ・ トップエスイー外部向けサイトからの公開
 - ・ 評価について
2. 審査基準
 - ・ テーマ申請書の書き方

システム編

1. 講義受講環境
2. 演習環境
 - ・ クラウド上のデスクトップ環境
 - ・ 個人 PC/Mac を利用する場合の留意点
 - ・ VPN の利用方法
 - ・ その他の便利なサービス
3. LMS
 - ・ 補講用ビデオ閲覧方法
 - ・ 課題の提出について
4. 受講生ポータル
 - ・ 「履修科目選択」のページ
 - ・ 「出席・遠隔申請」のページ
 - ・ 自身に関する情報の変更
 - ・ 議事録の作成

メモ

